

ウラノス・エコシステムの 共通データモデルに適合する 日本版サプライチェーン 参照データモデルの検討

特定非営利活動法人
ITコーディネータ協会
中小企業共通**EDI**標準部会

ウラノス・エコシステム実現の課題

- ウラノス・エコシステム（以下、UE）は「業界を超えたデータ連携」が課題
 - UEは「業界を超えたデータ連携」のための「共通データモデル」構築を計画
→先行ユースケースとして蓄電池の「カーボン・フットプリント」対応からスタート
 - UEは各業界・ユーザーを連携する「公益プラットフォーム」構築を計画
- 大手業界内の企業間デジタル連携はかなり進展しているので
 - すでに実用化されている業界EDIの利用が効率的
 - しかし、各業界EDIは現時点では業界を超えた相互のデジタル連携ができない
- 国際標準では業界間連携の参照データモデルがすでに提供されている
 - （例1）サプライチェーン参照データモデル：国連CEFACTのSCRDM
 - （例2）物流参照データモデル：国連CEFACTのMMT RDM
- 異なる業界EDI間デジタル連携（企業間DX）実現の課題解決案
 - 【解決案1】異なる業界EDI情報項目のセマンテック（意味）整合手段の提供
→国際標準参照データモデルを活用して日本版参照データモデル（SCRDM-JP）を構築
→UE共通データモデルとSCRDM-JPの整合化を図る
 - 【解決案2】異なる業界EDIプロバイダ間を連携する共通プラットフォームの提供
→この要件を満たすUE公益プラットフォーム構築を働きかける

中小企業取引データ連携の課題

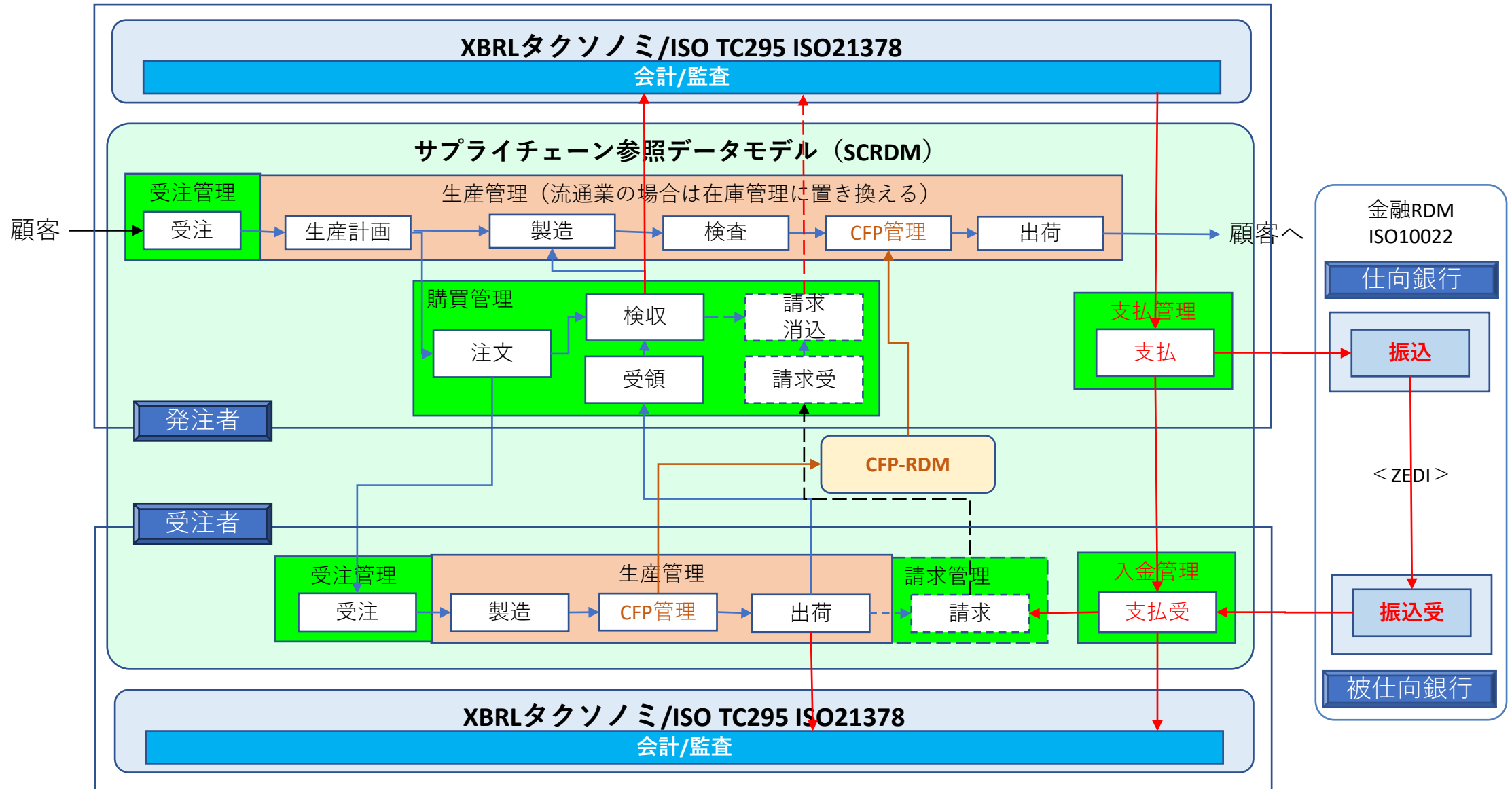
- 中小企業取引のデータ連携は大手企業とは異なる配慮が必要
 - 大手企業の「企業内DX」はERP導入で実現済
 - しかし、中小企業の企業内デジタル連携はまだバラバラ
 - 中小企業取引の「企業間DX」を実現しても、デジタルデータの有効活用ができない
 - 中小業界には企業間データ連携（企業間DX）と企業内データ連携（企業内DX）のセット提供が必要
- 中小企業取引の特徴
 - 中小業界は多数の多様な業種の取引連鎖によりビジネスを運営
 - これら顧客業界の多様な取引ルール要求に対応しなければならない
 - さらに、取引先企業規模は大規模企業から個人事業者にまで及び、取引先企業内デジタル化レベルも多様
- 中小企業取引EDI化はこれらの取引先すべてとの連携が必須要件
 - しかし、多様な取引に一括しての対応はできないので、ユースケースを分割
 - 小規模取引：「中小共通」仕様→すべての中小企業取引で利用する情報項目で構成
 - 中規模取引：「中小業界共通」仕様→中小業界（中小製造業、中小流通業、中小建設業等）ごとの業界固有取引で共通利用する情報項目を「中小共通」に追加
 - 大手業界取引：「大手業界対応」仕様→大手業界EDI標準の必須情報項目を組み込み
- SCRDM-JPはこれら取引ユースケースとのマッピング可を要件とする

日本版参照データモデル (SCRDM-JP)

日本版参照データモデル実現の要件

- すでに提供されている参照データモデル国際標準
 - 参照データモデル：UN/CEFACT_RDM
 - サプライチェーン参照データモデル：UN/CEFACT_SCRDM
 - 物流参照データモデル：UN/CEFACT_MMT RDM
 - 会計標準データモデル：XBRLタクソノミ
 - 監査標準データモデル：ISO_TC295_ISO21378
- 日本版サプライチェーン参照データモデル構築の方向
 - 国際標準参照データモデル（SCRDM）をベースにして、日本版サプライチェーン参照データモデル（SCRDM-JP）を構築
 - これを利用して各業界EDI情報項目セットを相互に変換する仕組みを構築
- SCRDM-JPの構築手順
 - 最初にインボイス取引のSCRDM-JP構築から着手
 - 続けて注文取引・出荷取引のSCRDM-JPを構築
 - 各業界EDI仕様をSCRDM-JP経由で相互に変換するゲートウェイを開発
 - SCRDM-JPのウラノス・エコシステム共通データモデルへの適合を推進

SCRDM・会計RDM・CFP-RDM・金融RDM



注：点線のプロセスは「請求レス方式」の場合には「仕入明細」に置き換える

SCRDM-JPの検討範囲

- マッピング対象業界EDI標準

- ① 中小企業共通EDI標準
 - ② JP-PINT（インボイスメッセージ）
 - ③ JEITA/ECALGA
 - ④ 流通BMS
 - ⑤ CI-NET
 - ⑥ カーボン・フットプリント（CFP）
 - ⑦ その他の業界EDI仕様
- 最初の取組範囲
- 以降、逐次拡大

- マッピング対象取引プロセス

- ① インボイス（請求、仕入明細、仕入明細回答）
 - ② 発注（購買管理）／受注（販売管理）
 - ③ 出荷／受領
 - ④ 支払通知
 - ⑤ 見積依頼／見積回答
 - ⑥ 需要予測
 - ⑦ 納入指示
- 第1ステップ
- 第2ステップ
- 以降、逐次拡大